



# 全国手話言語市区長会

「全国手話言語市区長会」は2016年6月8日、「手話言語法」、「情報コミュニケーション法」の制定と、手話関連条例の拡充を通じて聴覚障害者の自立と社会参加の実現をめざすとともに、各自治体における手話等関連施策の情報交換等を行うことを目的に設立されました。

「手話を広める知事の会」や「全日本ろうあ連盟」をはじめとする当事者団体、支援団体と連携、協力しながら事業を進めています。

## 全国手話言語市区長会ホームページ

全日本ろうあ連盟のホームページ内に全国手話言語市区長会のページをつくりました。  
会員市区や総会の様子などご覧いただけます。

全国手話言語市区長会

[www.jfd.or.jp/sgh/chokai](http://www.jfd.or.jp/sgh/chokai)



全国手話言語市区長会設立総会時は**250**市区が入会。  
来場者数は400名を超え、**61**名の首長が出席しました。



## ■当日のながれ

- 出席市長の紹介
- 総会議事
- 会長(田岡石狩市長)あいさつ
- 関係者あいさつ
  - 全日本ろうあ連盟 石野理事長
  - 鳥取県 平井知事(ビデオメッセージ)
- 来賓紹介
- 基調報告
  - 全日本ろうあ連盟 久松事務局長
- パネルトーク1
- 読売新聞井手編集委員のコメント
- パネルトーク2
- 総括(日本財団 尾形理事長)



## ■設立趣意書

2013年の鳥取県、北海道石狩市を先駆けに、これまで47の自治体で手話言語条例・情報コミュニケーション条例が制定されています。

それからわずか2年間で、国に「手話言語法」の制定を求める意見書が日本国内の全1,788地方議会で採択されました。

過去に前例のないこのような動きを受けて、全国市長会、全国都道府県議会議長会からも意見書を提出しており、手話言語法制定への機運が高まっています。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、聴覚障害者に対する情報保障の環境整備は我が国にとっても大きな課題となっています。

国に「手話言語法」「情報・コミュニケーション法」制定を求め、全国に関連条例の制定を拡大するための取り組みを進めるとともに、各自治体における手話等に関する施策展開の情報交換等を行うべく、ここに「全国手話言語市区長会」を設立することとなりました。

つきましては、ぜひこの取り組みにご賛同賜り、ご参画いただきますようお願い申し上げます。

## 2017年(平成29年度)

2017.6.7 都市センターホテル

総会時の会員は290市区となりました。

当日は77名の首長に加え、厚生労働省、文部科学省、内閣府からも来賓の出席があり、厚生労働省からは聴覚障がい者関連事業について次年度予算の報告がありました。議事では全国手話研修センターと全日本ろうあ連盟が開催する自治体職員を対象とした手話研修会に協力することが承認されました。

## 2018年(平成30年度)

2018.6.6 都市センターホテル

総会時の会員は全815市区の半数を超え、460市区となりました。

当日は100名の首長が参加し、厚生労働省、文部科学省、内閣官房からもご出席をいただきました。議事では石狩市からの手話劇祭の報告と次回開催地の郡山市からの情報提供があり、役員体制として新たに理事7名の就任が承認されました。また、参加者には情報共有を目的として手話関連施策一覧の冊子を配布しました。

## 2019年(令和元年度)

2019.6.12 都市センターホテル

総会時の会員は549市区となりました。

当日は87名の首長が参加し、デフリンピック支援WTの馳衆議院議員や当会顧問の平井鳥取県知事のほか多くの来賓がご出席くださいました。会長である田岡石狩市長の市長退任に伴い、新たな会長に星野富士見市長が就任しました。また、安田加東市長が副会長に、加藤石狩市長が事務局長に就任しています。

## 2020年・2021年(令和2年度・令和3年度)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催としました。

## 2022年(令和4年度) 2022.6.1 都市センターホテル

総会時の会員は603市区となりました。

当日は82名の首長が参加し、当会相談役の石野全日本ろうあ連盟理事長、尾形日本財団理事長のほか多くの来賓がご出席くださいました。

議事では、今年度から会費負担をいただくための収支予算(案)、役員体制に輪番制・ブロック制を導入するための運営体制(案)を提案し、原案どおり可決されました。





# 全国手話言語市区長会手話劇祭

主催 全国手話言語市区長会  
主管 全国手話言語市区長会手話劇祭実行委員会  
特別協賛 日本財団  
特別協力 全日本ろうあ連盟



手話劇祭は、手話の普及にとどまらず、手話言語から生まれる文化やその魅力を地方都市でも触れられることをねらいとしています。

聞こえない世界から生まれる世界観や感性に触れ、聞こえる人も聞こえない人も一緒に「手話劇」という芸術表現の世界を堪能しました。



Supported by  
  
THE NIPPON  
FOUNDATION

日本財団助成事業

- 第1回 北海道石狩市 2017.10.8
- 第2回 福島県郡山市 2018.10.28
- 第3回 三重県伊勢市 2019.12.1
- 第4回 山口県萩市 新型コロナウイルス感染防止のため中止
- 第5回 岡山県笠岡市 2022.12.18 開催予定



## 第1回手話劇祭

2017.10.8 北海道石狩市



### ■当日のながれ

- 主催者あいさつ  
会長:石狩市長 田岡克介
- 来賓あいさつ  
全日本ろうあ連盟理事長 石野富志三郎様
- 全国手話言語市区長会の紹介  
事務局長:明石市長 泉房穂
- 講演「演劇で手話の深さを知る」  
岐阜ろう劇団いぶき 代表 河合依子氏
- アトラクション「通夜の席」  
岐阜ろう劇団いぶき

日時 平成29年10月8日(日)  
10:00~12:00/14:00~16:00  
会場 花川北コミュニティセンター  
来場者 600人



## 第2回手話劇祭

2018.10.28 福島県郡山市

### ■当日のながれ

- 主催者あいさつ  
会長:石狩市長 田岡克介
- 開催地あいさつ  
郡山市長 品川万里様
- 来賓祝辞  
全日本ろうあ連盟理事長 石野富志三郎様  
日本財団 常務理事 吉倉和宏様
- オープニングイベント手話歌「ふるさと」  
郡山市立芳山小学校4・6年生
- 手話スピーチ「手話とともに」  
福島県立田村高校3年 柏原力樹さん
- 手話影絵「うらしまたろう」  
千葉ろう者劇団九十九
- 手話劇「(ある駅での出来事)いつでも、どこでも、だれにでも…」  
千葉ろう者劇団九十九
- 講演「私たちの尊敬するろう先人たちのよもやま話」  
千葉ろう者劇団九十九 演出家 植野慶也氏



日時 平成30年10月28日(日)  
10:30~12:30/14:00~16:10  
会場 郡山市中央公民館  
来場者 700人

## 第3回手話劇祭

2019.12.1 三重県伊勢市



日時 令和元年12月1日(日) 9:30~16:00  
会場 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢  
来場者 830人

### ■当日のながれ

- 主催者あいさつ  
会長:富士見市長 星野光弘
- 開催地あいさつ  
伊勢市長 鈴木健一様
- 来賓祝辞  
全日本ろうあ連盟理事長 石野富志三郎様  
日本財団 理事長 尾形武寿様
- 全国手話言語市区長会の紹介  
事務局長:石狩市長 加藤龍幸
- オープニングイベント「手話歌」  
明倫保育所児童 & 皇學館大學手話部
- 手話劇「最後の夏まつり」  
奈良ろう者劇団大仏も笑う会
- 記念講演「手話から始まる新たな出会い」  
早瀬憲太郎氏
- 映画上映「ゆずり葉」

# 行政職員手話講習会

2017年8月29日～12月15日

全日本ろうあ連盟と全国手話研修センターが手話を広める知事の会との共催で行政職員対象の手話講習会を全国6箇所で開催し、全国手話言語市区長会も会員市区への周知や参加で協力しました。

手話講習会は手話通訳を介さず、ろう講師のみで進められ、参加者は集中して学んでいました。

2日間のカリキュラムは手話を学ぶだけでなく、条例制定市職員による関連施策についての講演、ろう講師の手話や聴覚障がい者への理解についての講演、参加者同士の交流会など充実した内容で進められ、アンケートでは「今後の職務に活かせる」という回答が多く寄せられました。

全国6会場で225人(105自治体)が参加しました。



# 手話言語条例を考える行政担当者学習会

手話言語条例の制定を検討する自治体が増える中で、手話言語とは何か、また、手話言語条例の基本的な内容や意義について研修と情報交換を行うため、全日本ろうあ連盟が主催し、手話を広める知事の会との共催により行政担当者を対象とした学習会を開催しました。

全国手話言語市区長会も事例報告で参加しています。



年度	開催日	会場	受講者数	講師等
2018	2019.1.11	全国手話研修センター (京都市)	103人 (72自治体)	講師:小中栄一氏(全日本ろうあ連盟副理事長) 大杉 豊氏(筑波技術大学教授) 事例報告:長野県(手話を広める知事の会) 北海道石狩市(全国手話言語市区長会)
2019	2020.1.29	AP虎ノ門(東京都)	118人 (85自治体)	講師:石橋大吾氏(全日本ろうあ連盟理事) 本名信行氏(青山学院大学名誉教授) 事例報告:山口県(手話を広める知事の会) 三重県伊勢市(全国手話言語市区長会)
2020	2021.2.5 ~2.28	事前収録動画 オンライン視聴	412人 (延べ視聴数)	講師:石野富志三郎(全日本ろうあ連盟理事長) 事例報告:青森県(手話を広める知事の会) 埼玉県富士見市(全国手話言語市区長会)
2021	2022.2.4 2022.2.8 ~2.28	オンライン意見交換 事前収録動画 オンライン視聴	43自治体 1895人 (延べ視聴数)	講師:久松三二(全日本ろうあ連盟理事長) 事例報告:宮城県(手話を広める知事の会) 福島県郡山市(全国手話言語市区長会)



## 会員数の推移

2016年の設立総会時には250市区が加入していましたが、会員数は年々増加し、設立から6年が経過した2022年の総会時には、全国815市区のうちの7割を超える**603**市区が加入しています。

## 活動の記録

2016.	6.8	設立総会 手話言語フォーラムを同時開催
2017.	1.25	役員会 全日本ろうあ連盟との意見交換
	6.7	平成29年度総会
	8~12	行政職員手話講習会【全国6会場】
	10.8	第1回手話劇祭【北海道石狩市】
2018.	1.24	意見交換会・役員会
	6.6	平成30年度総会
	10.28	第2回手話劇祭【福島県郡山市】
2019.	1.11	手話言語条例を考える行政担当者学習会(共催事業)【全国手話研修センター】
	1.23	意見交換会・役員会 本名信行青山学院大学名誉教授の基調講演
	6.12	令和元年度総会
	12.1	第3回手話劇祭【三重県伊勢市】
2020.	1.22	意見交換会・役員会
	1.29	手話言語条例を考える行政担当者学習会(共催事業)【AP虎ノ門】
	6.3	令和2年度総会 ※新型コロナウイルス感染防止のため書面開催
	11.11	臨時役員会
	11.22	第4回手話劇祭【山口県萩市】 ※新型コロナウイルス感染防止のため次年度に延期
2021.	1.27	役員会 ※オンライン開催
	2.5	手話言語条例を考える行政担当者学習会(共催事業) ※オンライン開催
	6.9	令和3年度総会 ※新型コロナウイルス感染防止のため書面開催
	8.10	臨時役員会 ※オンライン開催
	11.21	第4回手話劇祭【山口県萩市】 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止
2022.	1.26	役員会 ※オンライン開催
	2.4	手話言語条例を考える行政担当者学習会(共催事業) ※オンライン開催
	6.1	令和4年度総会

## 関係・協力団体

- 一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 一般社団法人 全国手話通訳問題研究会
- 一般社団法人 日本手話通訳士協会
- 社会福祉法人 全国手話研修センター
- 公益財団法人 日本財団

当会の運営には日本財団様より多大なるご支援をいただいております。



## 全国手話言語市区長会役員体制

2022.6.1 現在

会 長	星野 光弘 (富士見市長：関東)	
	品川 萬里 (郡山市長：北海道・東北)	高野 律雄 (府中市長：関東)
副 会 長	野田 義和 (東大阪市長：近畿)	鈴木 健一 (伊勢市長：東海)
	武隈 義一 (黒部市長：甲信北陸)	
事務局 長	加藤 龍幸 (石狩市長：北海道・東北)	
監 事	田中 文夫 (萩市長：中国・四国)	十屋 幸平 (日向市長：九州・沖縄)
	榎本 義法 (富岡市長：関東)	平尾 道雄 (米原市長：近畿)
理 事	中村 健 (西尾市長：東海)	柳田 清二 (佐久市長：甲信北陸)
	中平 富宏 (宿毛市長：中国・四国)	下鶴 隆央 (鹿児島市長：九州・沖縄)
顧 問	平井 伸治 (鳥取県知事、手話を広める知事の会 会長)	
相 談 役	石野富志三郎 (全日本ろうあ連盟 理事長)	
	尾形 武寿 (日本財団 理事長)	

作成日 / 2022.9.15